

令和 5 年度		学年	商業・普通 科	
教科名	外国語	科目名	English Communication II	3 単位
		担当者	笠原 智穂	

1. 学習目標

様々な分野に関する英文を読んで読解力の伸長を図ると共にその英文の中で使用された文法事項を用いて知識・技能を高める。テキストのトピックから海外の生活習慣や文化を学ぶことで、生徒自身のアイデンティティを考え、さらに繰り返し音読を図ることで発音や英語を発することに慣れ、アクティビティやプレゼンテーションを通して自身の意見や考えを英語で表現する力（思考力・判断力・表現力）を身に着けることを目標とする。

2. 使用教材等

・教科書名 Power On English Communication II（東京書籍）

・副教材名 Power On English Communication II（東京書籍）スタディノート・ワークブック

3. 学習項目（学習内容）

学期	月	単元	学 習 内 容	時間数	考查
1	4	Lesson1	助動詞＋動詞の原形＋受け身＋SVC	20	中間考查
	5	Lesson2	SVOC＋使役動詞＋知覚動詞		
	6	Lesson3	現在完了形＋過去完了形＋仮定法過去のif節	20	期末考查
	7	Lesson4	関係代名詞（主格・目的格）と非制限用法		
2	8	Elixir	夏季休業課題総合演習	20	中間考查
	9	Lesson 5	助動詞＋受け身＋SVC＋SV0＋seem (appear) that節		
	10	Lesson 6	It's said that節＋形式目的語(thatとto)＋助動詞	25	期末考查
	11	Lesson 7	関係代名詞の非制限用法		
12	Lesson 8	強調構文＋強調の助動詞do＋文が先行詞の関係代名詞＋to have 過去分詞			
3	1	Lesson9	譲歩を表す副詞＋no matter 疑問詞＋仮定法過去完了	10	中間考查
	2	Lesson10	過去完了進行形＋be to不定詞＋未来完了形＋insist		
	3	Elixir	春季休業課題総合演習	10	期末考查

4. 評価の観点

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	積極的に取り組めたか
②外国語表現の能力	自己表現が工夫してあるか
③外国語理解の能力	他の意見を聞きながら自分の意見を纏める事が出来たか
④言語や文化についての知識・理解	論理的思考を身に付ける事が出来たか

5. 評価の方法

・定期考查：	中間考查3回 期末考查3回
・課 題：	単語テスト（週1回） 音読テスト（学期1回） Workbookによる復習
・授業態度：	授業に取り組む姿勢 出席状況 提出物
・実験レポート：	
・実技テスト：	音読テスト（評価は実用英語技能検定の評価に準ずる）

6. 学習にあたっての注意とアドバイス

毎日の授業は「予習を確認する場」と考えて、日々の予習を必ず行って授業に臨んで下さい。英語の力を身に付けるには、予習(Preparation)→授業(Lesson)→復習(Review)を日々繰り返し行って下さい。これが英語力養成の「黄金サイクル」となります。英語学習には特効薬(panacea)などありません。貴方達の「遣る気」と「根気」だけがその特効薬となりますので、粘り強く頑張ってください。You can do it!